

# 東京大学大学院情報理工学系研究科 博士後期課程学生募集要項 東京大学基金留学生特別選抜 (2017 年 9 月入学)

この特別選抜は、情報理工学系の諸分野にかかわる高度な専門性を備えた人材の育成という本研究科博士課程の目的に沿って、本研究科の指定する大学大学院修士課程を優秀な成績で修了した学生を本研究科博士課程に受入れ、情報理工学系諸分野の指導的立場に立つ次世代の人材育成と留学生交流の一層の促進を図ることを目的として、通常の選抜とは異なる選抜を実施するものである。

## 1. 出願資格

本研究科の指定する大学(※1)において修士の学位を 2017 年 7 月 31 日までに授与される見込の者

## 2. 選抜方法

選抜は、第 1 次試験及び第 2 次試験による。

第 1 次試験においては、本研究科の指定する大学における指導教員により推薦された者から提出される下記 7 項の「提出書類等」により選抜する。

第 2 次試験においては、口述試験により修士課程における研究の概要、及び修士論文執筆の状況、博士課程入学後の研究計画等についての審査を行い、これらを総合的に判定し、選抜する。

なお、合格者のうち、成績上位の者に「5. 支援内容」に掲げる奨学金を給付する。また、それ以外の合格者については、別途定める条件(※2)を満たす場合に入学を許可する。

## 3. 募集人員

情報理工学系研究科で若干名。

コンピュータ科学専攻、数理情報学専攻、システム情報学専攻、電子情報学専攻、知能機械情報学専攻、創造情報学専攻のいずれの専攻でも受け入れる。

## 4. 出願手続

(1) 出願にあたっては、第 1 次試験選抜に必要な下記 7 項の「提出書類等」を提出期限までに送付すること。また、出願の前に、情報理工学系研究科大学院チームを通じて希望指導教員に必ず連絡を取ること。

(2) 提出期限 2016 年 10 月 12 日(水) (必着)

(3) 提出先及び問合せ先

提出先：〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学大学院情報理工学系研究科入試担当

問合せ先：情報理工学系研究科 大学院チーム [ist\\_ao@adm.i.u-tokyo.ac.jp](mailto:ist_ao@adm.i.u-tokyo.ac.jp)

(メールで問い合わせること)

## 5. 支援内容

(1) 奨励費 月額 200,000 円(予定額) 支給期間 3 年間

(2) 特別奨学金 検定料及び入学金相当額

## 6. 試験期日及び場所

### 第2次試験

2016年12月7日(水)に東京大学北京代表所及びインド事務所にて行う。なお、試験日時等は、第1次試験合格者に対して通知する。

## 7. 提出書類等

書 類 等	摘 要
*申請書	所定用紙に出願3か月以内に撮影したカラー写真を貼ること。
成績証明書	成績を証明するもので原本提出。
TOEFL 成績提出票	Official Score Report
研究業績リストと代表的論文の別刷	既発表論文等がある場合
修士課程における研究の概要、及び修士論文執筆の状況	A4判5~10枚程度、英語あるいは日本語
博士課程入学後の研究計画	A4判5~10枚程度、英語あるいは日本語
*推薦書2通	出願者の指導教員を含む2名からの推薦書(各々厳封とする)
その他必要と思われる資料	博士課程入学の能力を判定するために参考になるもの、

(注1) \*印は、所定用紙を使用すること。

(注2) 提出書類について、特別の事情がある場合には問い合わせること。

## 8. 合格者の発表及び入学手続

(1) 第1次試験の結果は、2016年11月上~中旬、本人宛に通知する。

(2) 第2次試験の結果は、2016年12月中~下旬、本人宛に通知する。

(3) 入学許可通知及び必要事項は2016年12月以降、適宜本人宛に通知する。ただし、本研究科の指定する大学において、2017年7月31日までに修士の学位が取得できない場合には、入学許可を取り消すものとする。入学手続書類は日本入国後に本人へ手渡すこととする。

(4) 合格者は、入学手続に関する書類を以て、2017年8月下旬の所定期間中に必要な手続(入学料等の納付及び入学手続書類の提出)を行うこと。この期間内に入学手続を行わない場合には、入学しないものとして取り扱うので注意すること。

(5) 入学料及び授業料 (2017年度予定額)

① 入学料 282,000円(予定額)

② 授業料 後期分 260,400円(年額520,800円)(予定額)

※1 本研究科の指定する大学は以下のとおりである。

北京大学、清華大学、上海交通大学、インド工科大学 カラグループ校 ボンベイ校  
カンプール校 マドラス校 デリー校 ハイデラバード校、  
インド経営大学院 バンガロール校

※2 別途定める条件とは以下のとおりである。

中国の大学に在籍する者で、「国家建設高水平大学公派研究生項目」に基づき、国家留学基金管理委員会によって本研究科への派遣を許可された者。

2016年4月